

カンボジア舞踊への誘い

～その起源と真髓に迫る～

3月29日(水) <第1部> 17:00 <第2部> 19:00

すみだトリフォニーホール(大ホール)

プログラム

<第1部>

地唄舞 「羽衣天女」 神崎ひで一

講演 「日本における天女イメージの形成」

津田徹英(国立文化財機構上席研究員)

基調講演 「アンコールワット女神像とアプサラダンス」

石澤良昭(上智大学教授)

— 休憩 30分(予定) —

<第2部>

ご挨拶 ノロドム・ボッパデヴィ王女(元文化大臣)

公演 カンボジア舞踊「ラーマーヤナ」

Sacred Dancers of Angkor

この舞踊団は、カンボジアの伝統舞踊の第一人者とされるノロドム・ボッパデヴィ王女(元文化大臣)を総裁に戴く集団です。王女が舞踊団を率いて初来日するという稀有の機会です。アンコール地区の貧しい村々出身の少年少女が、アンコールの神々に奉納する舞踊や祈りの舞を学び、清楚で精神性の高い舞踊技能を習得しています。

すみだトリフォニーホールでは、有名な叙事詩「ラーマーヤナ」を披露します。舞踊公演と併せて、石澤良昭上智大学教授の講演のほか興味深い講演や地唄舞も演じられます。日本とカンボジアの舞踊交流をどうぞお楽しみください。

カンボジア・日本共同舞踊文化公演実行委員会
委員長 高橋文明(日本カンボジア協会会長)

チケット《ブロック指定》

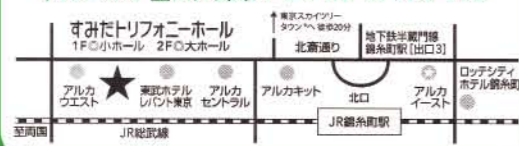
S席 10,000円

A席 5,000円

B席 3,000円

すみだトリフォニーホール

〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-3 TEL 03-5608-5400



チケットのお求めは…

◆トリフォニーホールチケットセンター

03(5608)1212

◆チケットぴあ(Pコード456-635)

0570(02)9999

◆鴻臚舎(こうろしゃ)

03(3556)6176

(FAX共)

E-mail:kohlosha@gmail.com

http://www.kohlosha.jp/

カンボジア・日本共同舞踊文化公演

カンボジア舞踊への誘い

～その起源と真髓に迫る～

2017年3月29日(水) すみだトリフォニーホール(大ホール)

<第1部> 開演 17:00 開場 16:30

<第2部> 開演 19:00

SACRED DANCERS OF ANGKOR



主催:カンボジア・日本共同舞踊文化公演実行委員会

助成:国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成」

後援:外務省 駐日カンボジア大使館 日本カンボジア協会 ユネスコ・カンボジア事務所

JICA カンボジア事務所 墨田区 朝日新聞社

協力:全日本空輸株式会社 株式会社ウラタ

カンボジア・日本共同舞踊文化公演

全スケジュール

3月29日(水) 「カンボジア舞踊への誘い～その起源と真髄に迫る～」

於 すみだトリフォニーホール

◇地 唄 舞 「羽衣天女」 神崎ひで一 (作家・ジュネーブ州立大学元教授)

◇講 演 「日本における天女イメージの形成」
津田徹英 (国立文化財機構上席研究員)

◇基調講演 「アンコールワット女神像とアプサラダンス」
石澤良昭 (上智大学教授)

— 休憩 30分 (予定) —

◇ご 挨拶 ノロドム・ポッパデヴィ王女 (元文化大臣)

◇公 演 カンボジア舞踊「ラーマーヤナ」 Sacred Dancers of Angkor

3月30日(木) 「カンボジアの夕べ」 於 日本外国特派員協会

18:30 開始

4月1日(土) 「奉納 天女の舞」 於 鳩森八幡神社能楽殿

14:00 開演

◇公 演 能『羽衣』より「天女の舞」 櫻間會

◇公 演 カンボジア舞踊「天女の舞」 Sacred Dancers of Angkor

4月2日(日) 「カンボジアにふれるひととき～舞踊を通じた国際交流～」

於 港区赤坂区民センター・ホール

14:00 開演 ◇ご 挨拶 ノロドム・ポッパデヴィ王女 (元文化大臣)

◇講 演 「カンボジアの今」 チア・キムタ大使 (在日本カンボジア王国大使館)

◇講 演 「日本とカンボジア」 高橋文明 (日本カンボジア協会 会長)

◇公 演 カンボジア古典舞踊とワークショップ



来日舞踊団

Sacred Dancers of Angkor

アンコール聖舞踊団 (Sacred Dancers of Angkor) は、

清楚で精神性の高い舞踊を身につけた本格的な青少年舞踊団。

日常の練習の他にはカンボジア王宮に招かれての儀式や祈りの舞、アンコール地域の

寺院等での儀式や祈りの舞を演じるため一般公開は極めて希少です。

アンコール遺跡近郊の貧しい村の自立支援に取り組むNPO NKFCによって2007年に設立されました。

カンボジアにおける伝統舞踊の第一人者でカンボジアの「プリマ・バレリーナ」の称号を持つ

ポッパ・デヴィ王女殿下 (元文化大臣) を名誉総裁に戴き、

団員はクメール文化の神髄とともに、アンコール遺跡周辺の神々に奉納する伝統舞踊を学ぶため、

日々厳しい練習を重ねています。

今回王女が団を率いて初来日、本邦初演。

その卓越した技能は、2013年に米国で初の海外公演を行った際には、

現カンボジア国王である、ノロドム・シハモニ国王に認められて推薦を受けました。

さらに、ユネスコ・カンボジア事務所からも推薦を受け、

米国の主要都市で公演を行い高い賞賛を受けています。

